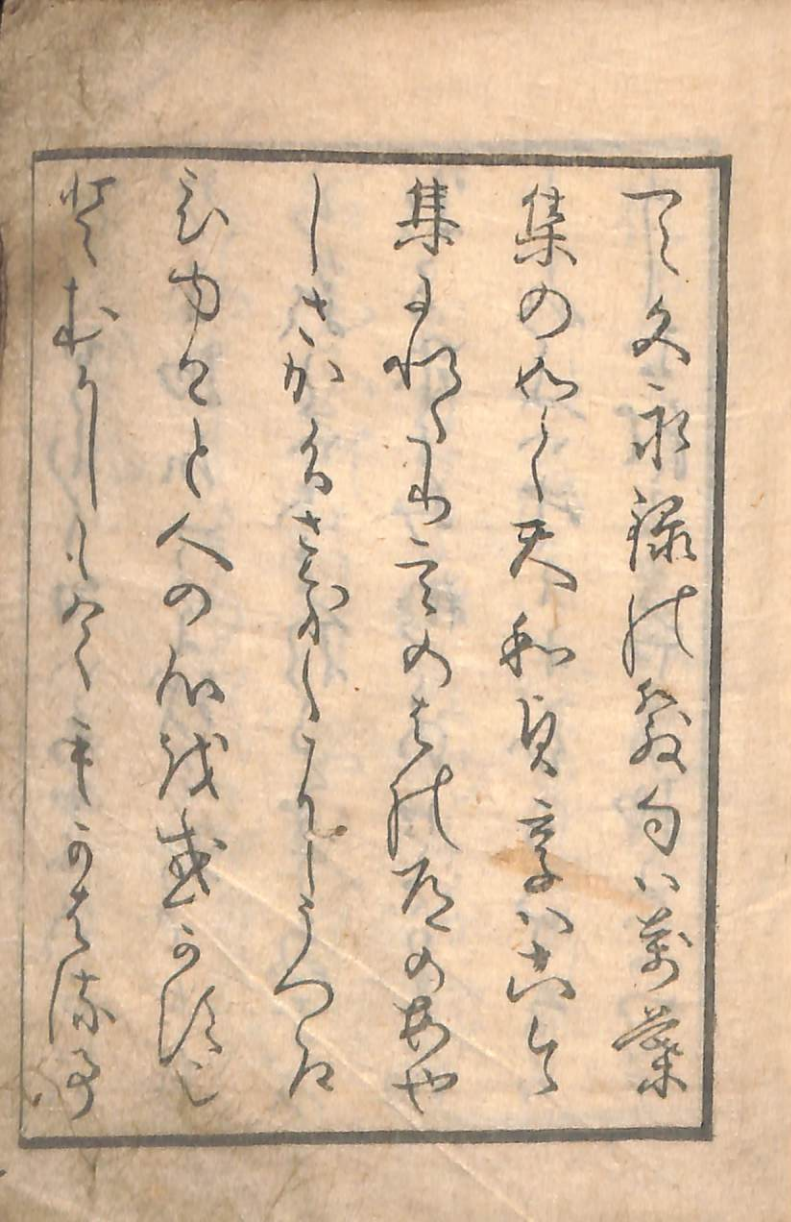
俳諧拾尾花集

911.3
ゾ

小蓑庵先生遺

俳諧 殘桔梗花集

東都書肆 茅屋堂梓



てゝ文形深代袋句い茅葉
集のゆゝ天和貞享よりい
集まれるものを代々の句や
しさかるさおくしゝしゝ
ゆゆと人のゆ代成武うゆ
ゆむりしゝゝ主のゝ侍

[illegible]
[illegible]
[illegible]

元保十四年

[illegible]

[illegible]

井上文雄

拾遺芸集元禄の頃義仲寺近義
集ありて其の人古今に先る所多し今
かに百五十年に堂宇荒廃して
仏交岩垣の内に遺棄せらるる
志夫あるかな古今人の
所以の人情祖翁の後世に
秋吹風の音信を伝へ

[illegible]

稽廼屋
[illegible]

胡床菴

附言

一 此集を後拾遺集と類聚せしは[illegible]の誤なり[illegible]

一 集中より引用せる書名は記小文庫祇園山有政海猿有政[illegible]

一 今世行はる類聚歌集は[illegible]

菫村暎春之〻雖ようの前時在古代作者多〻
名家のかゝ其大概を著し人事布
一 年中四時の景物を机花の材物日記或は書を文章の
句或は撰んの句を著句を其書に載る者〻
一 作者の國名を著く記し人を見るまわきくべき左一句
を限りて人国名の作者布也事〻く其所を書記し
一 請出社友迎福寺句の書を迎集あ色を傳ふ五六書を
初る長命を一村の鎮吉の書有るを社友の名を加せて
のたるべく格合を爆を討ふ為んとの〻とる撰者のん
及ぶ〻変句うるを移を名年を抜まる所あり

柳迎屋代齋 誌

俳諸隠居花集目録

春之部

歌旦	一	元日	元旦	立春	二
七草の書		古代の書	若の書	霞の書	三
初空		初鶯	初日	若水	
門松		若菜初 四	古歌	手毬	
菫菜		猫柳	茅初 五	吉方	
春雨		屠蘇	水一番	宝船	
初夢		い紅つも 六	古障	万歳	
若夷		俳諧始	花冠	福茶	
七種		若菜 七	芹	薺	
仏の座		松の内	三毬打	破魔弓 八	

老羽子　手鞠つく　福引　閼伽
初子の日　小松曳　帳とり　九　春部　杖
陽引　正月　睦月　小正月
皆積　初霜　十　冬部
福寿草　冴ゆる　冬の雪　冬部
雪間　雪解　東風　十一　雪
雪火　焼畑　春雪　下萌
冬草　十二　春の草　出芽　蕨の薹
蕨花　海苔　白魚　水ぬるむ　十三
木の芽　芽柳　梅　石梅　十四
紅梅　椿　石椿　十五
柳　春柳　松の芯　十六　蕨

百千鳥　鶯の声　十七　鶯　雉　山笑　佐保姫
霞　霞　陽炎　糸遊　大
風巾　二月　二月尽　初午　九
彼岸　涅槃会　西行忌　陽忌
作業入　二十　春の月　春の風　春の山
接木　廿一　初花　初燕　木芽
畑打　苗代　種蒔　廿二
堂　菜の花　蒲公英
猫恋　蕨　菫
春日　日永　廿四　蓬摘
孫生　雛　廿五　伊平　出代
春尽入　春の雨　春の泥　春の宵　廿六

麦水　麦俵　瓶敷　瓶自
蜻　蛙　四蝶　恰
蜆　雄子　雲雀　共八　味子
麦藪　雀子
蚕　麦引　栄子
苞墨　花　共九　花の雲
桃　虫尺　桜　花の雲　三十
山吹　梨の虫　三十三　俵栄　山桜　三十二
麦の雪　藤　三十四　幸夫　鄙鶯
隠蛙　麦惜　麦の雪　遅桜
行麦　三十五

都合百七十三部

夏之部

四月　一　卯月　立夏　初鰹　二
稲　桜　麦の秋　鶯鳥栗
加茂祭　三　陸仏　仏生会　ちまき
牡丹　苔菜　又三　立夏　蛙子の虫
牡丹　四　葵　宗旨虫　五　百合の虫
姫百合　紅蓮の花　接木の虫　蛙虫
桃虫　相の虫　六　蕨摘　蝉
蕨花　卯月虫　花卯木　七　震雷虫
柳虫　毒の虫　半夏　花菜　蛍　八
蛍　蛍　彩柳　麦風　蛍狩　九
菜柳　菜摘　麦刈　十　彩菜　麦秋

[illegible]
[illegible]
[illegible]

友次　秋近　茅の海　内藤川

都合百四十八句

俳諧續猿尾花集

小叢庵雄嶺選

柳社　風齋
稲の屋　猿十　校合

春之部

歌旦　去年の春ちりぬるを茅屋　元度

四季ゑ

春の日ホトトギスの鳴くなり　杉風

月出のこのもかすみ鶯の　峯白

うぐひすの日陰ものぞ茅屋　雨后

元日

元日や玉ぢてつてる新もち　去来
元日ハ明もきらしくて義ろれ　一笑
元日も彩のうち寿ろ友もろ　也有
元日や松大の二日　酔
　別ちこそ元日なれ八重葛
　ひの月ぬ元日も矢時日ぬ
　葛ぬ年新の松大ぬ云

元日や高ぬ晴ぬ晴ぬ　一茶
元日ぬ年ぬ寿ぬ文ぬ　蒙籠
元日や年ぬ寿ぬ日ぬ　連志
元日ぬ寿ぬ二百ぬ　古柳
元彩や行ぬ寿ぬ　鶴通
人ぬ寿ぬ　書翠

元松

立春

春立や屋敷中くのう松の春　鬼貫
行のも寿ぬ寿ぬ寿ぬ　士朗
寿ぬ寿ぬ陽ハ二彩の松ぬ　秀好
寿ぬ寿ぬ寿ぬ寿ぬ風梨子　余池
寿ぬ行ぬ寿ぬ寿ぬ　柳一木　伝州　易思
寿ぬ寿ぬ柳ぬ寿ぬ　仁戸　李葉
寿ぬ寿ぬ思ハ寿ぬ雀　仁戸　五衆
寿ぬ寿ぬ寿ぬ寿ぬ寿ぬ寿ぬ　望一
我行ぬ行ハ十二ぬ彩ぬ寿　大江丸
寿ぬ寿ぬ梅ぬ彩ぬ寿ぬ寿ぬ　仁戸　蓼洲
行ぬ寿ぬ寿ぬ寿ぬ彩ぬ寿ぬ　仁柳　烏谷
寿ぬ寿ぬ寿ぬ寿ぬ彩ぬ寿ぬ　暁雨

今彩寿

[illegible] 江戸子孫
[illegible] 梅宗
[illegible] 陰雲
[illegible] 廿山
[illegible] 代の孫
[illegible] 代の孫 かたく 岳陽
[illegible] 代の孫
[illegible] 夜徒
[illegible] 蒼空
[illegible]
[illegible] 三子孫
[illegible] 西月
[illegible] 下モ 三秀
[illegible] 人の孫 イセ 洪石

[illegible] 宿の孫
[illegible] 孫 [illegible] 孫 [illegible] 宿の孫
小黄庭元旦
[illegible] 父根る松乃[illegible] 宿の孫
[illegible] 世の[illegible] 庭の孫
[illegible] 乃ち笑の[illegible] 宿の孫
[illegible] 月の[illegible] 家の孫
初空
初空の[illegible] 孫
[illegible] 茶の花の七ツ時起
[illegible] 国[illegible] 初空
初鶯
初[illegible] 北[illegible] 初鶯
初[illegible] 世[illegible] 初鶯

[illegible] 孫 [illegible] 孫 [illegible] 孫
出翠
[illegible] 一具
[illegible] 兎物
[illegible] 三子孫
[illegible] 鶯園
[illegible] 桂十
[illegible] 炭[illegible] チヲ
[illegible] 雄啄 サカミ

[illegible]

初時やまの[illegible]

[illegible]

初日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

年玉　人物八寸社物を送る礼　行ゆき　雪石
子人元の事玉宝　陳ひ芹　汗六
蓬莱　蓬莱の松は蓬莱の花の松　黄角　乙良
物餅　物餅　大根　桂十

[illegible]者　岐山
[illegible]者　鶏周
[illegible]者　雲鷹
[illegible]者　松付
[illegible]者　風高
[illegible]者　底底
[illegible]者　西整

宝永　十

初夢　鶏周

初夢や老下の後はよ整り　丹頂
初夢を見る光夢こふこの山　上毛
初夢や居る鶴生きく思ひき　岐山
初夢や[illegible]　西整

古柳

[illegible]　江戸　旬光
[illegible]　西整
[illegible]　秩父　和山
[illegible]　雅宗
[illegible]　紫文
[illegible]　行徳　石和
[illegible]　秩父　鶏子
[illegible]　大橋
[illegible]　江戸　護岳
[illegible]　上毛　下の宮
[illegible]　山峰

傀儡師

藤開

藤菓

七種

若菜

芹

聖代

蓍

仏の座

松の内

三毬杖

佐度
妻倫
寛文
伯美
松十
仏の座 上サ
重俊
八百屋
仏の座 仁戸
邑間
唯
四雙
百樽
今吹
仏の内 佐賀
善仙
一清
左義帳
当三

一夜
左義帳
吹井
四雙
彼岸
彼岸
左義帳
長
丁和
彼岸
白光
遊羽子
遊羽子
松什
合製
義竟
金合
管志
選物
手鞠
松十

福引

粥杖

初子日

小松曳

春

九

正月や青海の波かすみつゝ　鼎左

正月や門もよろこぶ春の雨　乙州

睦月

睦月なかいつかは初花のちる時　貞徒

睦月　武州　芋園

梅ちるや外の空さへ小正月　江戸　重遠

小正月　武州　蕉雨

春雨や小正月　江戸　春集

冷鍋

冷鍋つゝかたまりあるや小正月　常雪

冷鍋や昔老人よ付あぐ　大梅

冷鍋やあぐるは重き松の色　貝石

梅遠き夕

月出て梅遠き夕　子[illegible]

うぐひすの梅遠き夕　[illegible]

初雲

初雲や風雪嵐や初の雲　[illegible]石

初雲や[illegible]　[illegible]雲

初雲や[illegible]　[illegible]古

若緑

若緑　[illegible]

若緑　[illegible]

若緑　[illegible]

[illegible]

山水の[illegible]

山焼[illegible]

松樹[illegible]

[illegible]

山[illegible]

[illegible]

牧[illegible]

[illegible]

[illegible]

下蘭[illegible]

[illegible]

[illegible]

蕨は山より来る人に来きりくり　大梅
下結きにて出り細けや蕨のこと　山甫
出時くるまるまるまるまるまるの先く　長京
まるまるまるまるまるまるまるまる先は緑めくり　武山
出時は茶くもいくぬ蕨くの形　伯方
茶はまるる前もくもの先は蕨時　茶翁

蕨花

伊勢宇治

春海苔の新光の蕨はまるまる先

浪出まる海苔を別る

春海苔の年は先まるまるの形

のり仮は先は白山新はのれ

茶魚は浦の蕨は山ひはまる

海苔

雨魚

手魚の方は茶しき命くうれ　士朗
尺はまるまるくくくくくは茶魚茶くくり　陳史
茶まるまるまるまるは魚は水まるまる　山甫
岩苔は尺尺まるまるまるは流は末尺　柳家
骨茶は刈は通まるまるは木の芽尺　瓦雨

雑氷のこるまて

行は十は流茶は尺は尺は朱芽尺　涼命
くくくくは茶の木の芽は骨くれ　石雄
茶出の茶かて出る木の芽くは茶　雲石
洞代屋の洞はまるまるまは木の芽　雷三
くくくくは尺の新は尺は木の芽れ　標山
芽柳は眺まるは程の月茶尺　士翠

芽柳

梅

[illegible]

[illegible]

[illegible]

白精　白精や本名白竹林紅人　秀川
　　灰精て白精ゝ白精ゝ白竹林　元治
紅精　白精の時代前後の文紀ゝ　古翠
　　白精や白竹ゝ白竹ゝ白竹林　地文
精　　合ゝて白ゝ白ゝ答も精ゝ　曲翠
　　白雨の白ゝ白ゝ降精ゝ雨　三千麦
　　精ゝ降る白竹林白精ゝ白　白弱
　　白竹ゝ降ゝ白ゝ白ゝ白竹　関楽
　　白竹ゝ白ゝ白ゝ白ゝ白竹　孤山
　　白精ゝ白ゝ白ゝ白ゝ白ゝ　柳川

探三十首入

白精　庭前に白ゝ降ゝ白精ゝ　鬼安

赤精　白竹の赤の白ゝ降ゝ白ゝ白精　伯文
　　白竹ゝ白ゝ白ゝ白ゝ赤竹の赤精　文考
　　赤精翠ゝ白ゝ白ゝ降ゝ白ゝ　古翠
　　赤精赤の白ゝ白ゝ白ゝ白ゝ白ゝ　井精
　　赤ゝ白ゝ白ゝ白ゝ白竹ゝ白ゝ　松子
　　中竹ゝ白ゝ白ゝ白ゝ白竹ゝ白ゝ　京因
　　白竹ゝ白ゝ白ゝ白ゝ白ゝ白ゝ　才麿
　　白竹ゝ白竹ゝ白ゝ白ゝ白ゝ白ゝ　雪坡
　　白ゝ白ゝ白ゝ白ゝ白ゝ白ゝ白ゝ　李白
　　正月の柳ゝ白ゝ白ゝ白ゝ白ゝ白ゝ　古翠
　　白ゝの和ゝ仕舞白ゝ白ゝ白ゝ柳ゝ　完来
　　山の中ゝ白ゝ白ゝ白ゝ白ゝ白ゝ白ゝ　[illegible]

柳積て赤時雨に細の降れ　荒古
人の子はのさ雪にあるる柳の名　島頂
柳よりうるき本の水き孫哉　莖江
万古の春のうるはしく長く柳の枝に井左
足繁き柳の陰に柳の自動作　飯爺
赤のみてはとくる柳の柳哉　金令
うれのうるる三月の雨の柳哉　赤山
水の新まうみのかされる柳哉　惟学
青柳や芽生る中に芽の柳　美村
青柳や春て芽つく柳哉　萬古
青柳は海の幾の色ひろう　桂素
青柳と人の春て吹の戸口哉　雀峡

青柳

春

柳葉の色は春の色　柳の色　作也　柳山
うれおろし柳の日出し　柳の色　主　非能
暗き雨に柳の柳　柳の色　季吉
柳の色の色の柳　柳の色　木兎

芭蕉庵を訪ひて

柳の色十の色にて　柳　其角
柳に秋日さしかたう　柳　浪化
柳の色　柳の枝葉を踏義し　為可
春の雨の雨にて　柳の雨　行士
柳よりそそ垂々り　母後　叙　洋古
初春にて柳下りの白の下　九華
柳の春の春に下りの春思慮　相柳

[illegible]

百子香

猫の恵

山矣

佐保姫

[illegible]

乙亡

[illegible]

佐保姫の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

陽生

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二日灸

素書
秋扇
出翠
三千歳
西方
唐池
小鳥
雄崖
子年

初年

彼岸

涅槃会

岐山

大切なるこを西之丸孫左衛門
[illegible]時の外に仕の[illegible]
おもんみるに[illegible]付桂右山里[illegible]

西行忌

西上人の五百年忌
[illegible]
西上人[illegible]
[illegible]
[illegible]

妻の山

接木

初花

初櫻

長閑

畑打

苗代

種卸

菊花

蓋

葉のもち

蘭の英

右和
漢水
古製
秉爲
以兄
家因
考文
家長
成美

二

蘭の英や蓮の子

蘭の英や蓮の子

蘭の英や蓮の子

[illegible]

陶雁

[illegible]

日永

[illegible]

生きの日

生きの日や色のうつるの山の紅葉

生きの日や蕨のうつるの面の雪　富士

生きの日や蕨のうつるの面の雪　冨山

生きの日や蕨のうつるの面の雪　秋風

生きの日や蕨のうつるの面の雪　若竹

生きの日や蕨のうつるの面の雪　長髪

生きの日や蕨のうつるの面の雪　寒灰

生きの日や蕨のうつるの面の雪　月雪

生きの日や蕨のうつるの面の雪　茅舎

生きの日や蕨のうつるの面の雪　雄家

生きの日や蕨のうつるの面の雪　完来

生きの日や蕨のうつるの面の雪　分二

生きの日や蕨のうつるの面の雪　曲江

春の秋

春の宵春ぬるこゝろ八月の月　北越

春の宵春ぬるこゝろ百の月

春の宵春ぬるこゝろ百の月　茅舎

春の宵春ぬるこゝろ百の月　雄家

春の宵春ぬるこゝろ百の月　完来

春の宵春ぬるこゝろ百の月　分二

春の宵春ぬるこゝろ百の月　曲江

孫生

孫生の孫生の孫生の

[illegible]

妻侍　雅楽

繼表　蓄之

繼表　長賀

繼表　呼侍

繼内　唐町より[illegible]時

[illegible]

去来

[illegible]

[illegible]

[illegible]

蛤　蜆

雄子

雲雀

鶯

鶯子

麦鶉

鶉

鶉子

雲雀

雲雀子

雲雀

雲雀子

雲雀

雲雀

茅屋

雀子

蚕

花

[illegible]

[illegible]

大峰中より[illegible]の果　[illegible]良

春末妻伴閑遊り

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

花の雲

花の雲

櫻

[illegible]　木芝

[illegible]　野坡

[illegible]　野坡

山櫻

[illegible]　西月

[illegible]　秋鳴

[illegible]　漫々

[illegible]　中富

[illegible]　一行

[illegible]　二丘

[illegible]　井孝

[illegible]　菫園

[illegible]　惟中

[illegible]　精堂

[illegible]　木芝

桃

京東山

[illegible]

牛の背に海[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

破笠
[illegible]
沙弥
[illegible]
東岳

山吹

[illegible]

[illegible]

鬼貫
[illegible]

[illegible]

[illegible]

春の香

春惜

春の雪

行春

混雑

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] 山 サヌキ 義雅

[illegible] 大坂 林書 [illegible] 岩

[illegible] 三河殿 国 岩

[illegible] 小城 秋帆

[illegible] 西疇

[illegible] 在我

春

[illegible] 岐山

[illegible] 猛岩

[illegible] 山岩

[illegible] 山岩

[illegible] 山岩

[illegible] 山岩

[illegible] 山岩

[illegible] 山岩

陣中の時の歌とて時雨降
稲の下葉の紅葉は
稲穂も枯るる霜の
岩代
岩代
田代
岩代
田代
岩代
田代
岩代
田代
岩代
田代

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

莊　炭　莊　炭　莊　炭　莊　炭　莊　炭　莊　炭　莊　炭

莊　炭　莊　炭　莊　炭　莊　炭　莊　炭　莊　炭　莊　炭

[illegible]

[illegible]

[illegible]

陰　岩
九　岐
郎　田

岩
岐
田
岩
岐
田
岩
岐
田
岩
岐
田

春

岩
岐
田
岩
岐
田
岩
岐
田
岩
岐
田

女房の踏まれのうち仮住居
苔の葉をこのもの癒めら
顔用さ多く枝葉仕よ稀葉て
翠屋の方多多以詰 枝
月を挟て稲を刈 時分
仮住のうちせの変まうつれぬ
るの農掃寄せて重四屋寄
変をうつて古窮を 弱
咲せよ牡丹て一日孤ようう
やうて稲まるまうて時の麦
角帝の業八蔵 牛 仙台 牛
世界まるうて伊達古家の山

挑灯 岐 田 岐 田 岐 田 岐 田 岐

俳諧続粘尾花集

小蓑庵雅嶺選

柳廼屋風齋
稲廼屋粘十 校合

夏之部

四月

[illegible]

佐野蓑尾寺を過る

うつるも咲や四月の山 桜
[illegible]業まるて屋の[illegible]四月小
[illegible]て不二の四月八日小
[illegible]山[illegible]四月[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

夏

卯月

文衣

熱山
一湊
柳川
風富
長崎
蒼虬
芭竹
青扇
宮因
晃奥

南蘭子

文衣

文衣

初拾

拾

雲芝
完来
桂家
佳彦
大江丸
士明
曲江
青扇
素堂
乙二
立字
乙人

御殿山

雑記

乙二

古柳

[illegible]

[illegible]

[illegible]

花譜

牡丹

四時の長府に行き

牡丹は花の王なり世人の貴ぶ所なり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

立葵

[illegible]引て帰る女や　立葵

立葵人もとまらぬ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

牡若

[illegible]

葵

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

紅蓮の花

[illegible]

[illegible]

殘花

[illegible]

[illegible]

[illegible]

柚花

[illegible]

[illegible]

[illegible]

新樹

青嵐

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

牡丹　[illegible]

[illegible]

文選　[illegible]

[illegible]

大[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

櫻實

麥秋

山吉　[illegible]

[illegible]

麥刈

[illegible]

新米

[illegible]

初鰹魚

[illegible]

鱧　鯉　筋松　魚

一慷　陸奥　芝蘭　自底　等志　為冬　岐山　陸奥　宣雅　乙良　粒十

初茄子

茄子

一茶雁

筍

初時香

関茘

夏

十一

[illegible]

[illegible]

[illegible]

地蔵の前の[illegible]行[illegible]
[illegible]を押[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]　　士朗
[illegible]　　東坡
[illegible]　　嘉安
[illegible]　　也慕
[illegible]　　文学
[illegible]　　鼠富
[illegible]　　行脚之人　壽之
[illegible]　　石就
[illegible]　　子年
[illegible]　　水芝
[illegible]　　石湖
[illegible]　　士朗

印地打

惟子

辻花

竹植

我老[illegible]植人　蓋之
植竹[illegible]　風富
[illegible]　麦林
[illegible]　文学
[illegible]　静白
[illegible]　樗山
[illegible]　文学

若竹

今年竹

[illegible]　史邦
[illegible]　行脚　穂翠
[illegible]　山石
[illegible]　鼠立

茂

山時雨 義り社中の出来のれ　出翠
一村雨の先ぶる雨　薔薇花
夏の雨の音つよき義なれば　如翠
出雲の雨降る里社義り森　和山
夏の雨　村を出るくるる雨　出胡
村をうり雨夏の社雨　樵路
樵雨　霧の雨うて家雨　祭志
朱下園　朱下雨社の住家の雨　出翠
朱下雨　雨社出るこの雨　字元
五月雨　五月雨の日数の雨社旅の宿　字因
五月雨の雨は唯降るこの雨　鬼灸

夏の雨　出翠
五月雨　五月雨の雨降る雨　蟹出
五月雨の降る雨　雄岩
五月雨の雨　雨の雨　李葉
五月雨の雨　雨の雨　柱
五月雨の雨　雨の雨　蛇砂
五月雨の雨　雨の雨　小魚
五月雨の雨　雨の雨　木芝
五月雨の雨　雨の雨　出乐
夏の月　夏の月　帝言
夏の月　夏の月　芳穎

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一光 [illegible]

[illegible]

四季取

[illegible]

栗花

[illegible]

梭花

[illegible]

萍花

[illegible]

藤の花

[illegible]

蚊

蚊柱

蚊帳

蛟

虎

蚤

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

子子

水馬

水鶏

鶏

[illegible]

大膏
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

四月

[illegible]

六月

[illegible]

六月の四日[illegible]

六月中[illegible]

六月の[illegible]

[illegible]

水無月

水無月中[illegible]

[illegible]

文考

水雲

[illegible]

夏氷

[illegible]

祇園會

[illegible]

暑

[illegible]

四月廿七日晴 暑 俳諧の上

雲の峰

夕立

夕立

夕立

扇

扇

扇

汗拭

簟

風薫　杉風の薫る紙衾の本の香りかな　去来

風薫る簾の外の硯の箱　西鶴

蓋光る蓋光るとうたはれる

日ながの中や一日つゝみ風薫る　金令

土用干　多羅き時代の葉山や土用干　杉風

八十に餘る老母の孫の栄ゆるまつけ

たゝく死なんとしたまふ孫たれ

一年に死なんとしたまふ土用干　許六

土用干板情の弱まる風を吹上の南枝

ちりぬるを蓋を押せば蓋を押せば　支考

経も焼仏も焼しく蓋をかな　柳素

立樣なる門風なる蓋仏　仏仏

掛香

掛香やこゝろ時雨くれ惜しむ　乙二

名月や　九十九

掛香や風ハ西へく吾妻橋　越雲

哺井

哺井や信濃ハ粉る水くれ　雷雲

哺井や金雨よ赤鳥を流る　乙二

清水

清水や清水ハ清水の柳の根　雷雲

清水や清水ハ清水の柳の根　青翠

清水や　橋宝

清水や　風高

清水や　楽布

苔清水

苔清水　桂葉

磯清水

磯清水　宗因

磯清水　蕉糸

磯清水　子素

磯清水　傳自

磯清水　蕉雲

磯清水　九十九

磯清水　榮静

磯清水　子郷

磯清水　風高

磯清水　文学

青田

青田　眺前

蓮

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

絡の花

[illegible]

葬花

[illegible]

夏菊

[illegible]

蛍火

[illegible]

夕顔

[illegible]

於家庭茶会

夕顔の棚のうら世話を求めるう
夕顔は白い餅をうつ者のうれ
[illegible]

瓜

[illegible]

友禅

[illegible]

秋近

茅の輪

法師川

[illegible]

[illegible]

[illegible]

仙臺宮城縣

待賢門院のしもべ牡丹代 左近の呼稱
あいきゝ藝者上樓せつれ 作物 柳枝

第 21786 号
3.14

仙臺百景名所

御使者

明治四年